

分岐管方式

●分岐管方式

項目	ISUP355HS1 FDPC280HKXIS1A				ISUP450HS1 FDPC355HKXIS1A				ISUP560HS1 FDPC450HKXIS1A			
	ガス	管液	管	使用分岐管品番	ガス	管液	管	使用分岐管品番	ガス	管液	管	使用分岐管品番
室外ユニット～氷蓄熱ユニット	φ28.58	φ12.7	φ25.4	-	φ31.8	φ15.88	φ28.58	-	φ34.92	φ15.88	φ31.8	-
氷蓄熱ユニット～第1分岐	φ31.8	φ12.7	-	DIS-1KX40	φ34.92	φ15.88	-	DIS-1KX40	φ38.1	φ15.88	-	DIS-1KX40
室内ユニット 下流合計容量	101未満	φ15.88	φ9.52	-	DIS-2KX10	φ15.88	φ9.52	-	DIS-2KX10	φ15.88	φ9.52	-
	101以上～180未満	φ19.05	φ9.52	-	DIS-2KX20	φ19.05	φ9.52	-	DIS-2KX20	φ19.05	φ9.52	-
	180以上～371未満	φ25.4	φ12.7	-	DIS-2KX30	φ25.4	φ12.7	-	DIS-2KX30	φ25.4	φ12.7	-
	371以上～540未満	φ31.8	φ12.7	-	DIS-1KX40	φ31.8	φ15.88	-	DIS-1KX40	φ31.8	φ15.88	-
540以上	-	-	-	-	φ34.92	φ15.88	-	DIS-1KX40	φ38.1	φ19.05	-	DIS-1KX40

- 注(1) 分岐継手とユニット口径調整が必要な場合は必ず分岐継手側で行ってください。
 (2) 配管サイズ、分岐管の選定はその配管及び分岐管の下流室内容量をすべて合計してください。

●ヘッダー方式〔室内ユニット容量224・280タイプは使用できません〕

ヘッダー形式による接続容量を超えないよう選定してください。

項目	形式	HEAD-4KX	HEAD-4KXA	HEAD-4KXB
分岐数		4	4	4
室内ユニット下流合計		208以下	180以上～371未満	371以上～700未満
ガス側ヘッダー入口		φ19.05	φ25.4又はφ28.58	φ31.8、φ34.92又はφ38.1
液側ヘッダー入口		φ9.52	φ12.7	φ15.88又はφ19.05

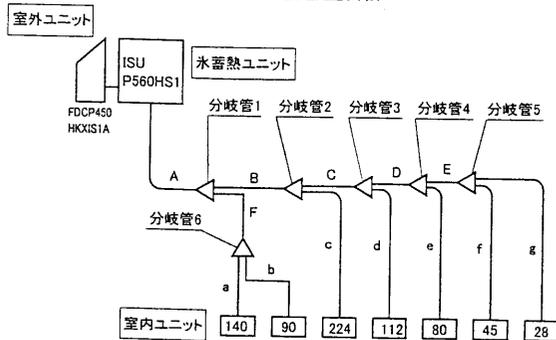
項目	形式	HEAD-6KX	HEAD-8KXA	HEAD-8KXB
分岐数		6	8	8
室内ユニット下流合計		208以下	180以上～371未満	371以上～700未満
ガス側ヘッダー入口		φ19.05	φ25.4又はφ28.58	φ31.8、φ34.92又はφ38.1
液側ヘッダー入口		φ9.52	φ12.7	φ15.88又はφ19.05

- 注(1) ヘッダーと室内ユニット間の口径調整が必要な場合は必ずヘッダー側で行ってください。

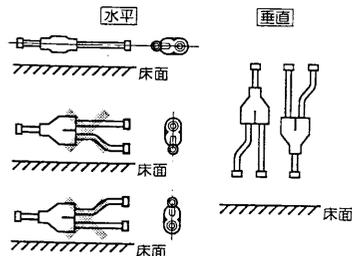
適用機種	ISUP355,450,560HS1		
形式	ISU-HS1シリーズ		
発行者	名称	配管接続図	
	北川	回番	訂 帯 業 別
01.12.7	PKC000Z154	1	2

冷媒配管接続例

■分岐管方式
接続容量合計:719

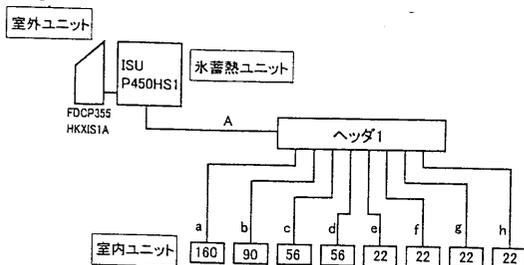


備考1. 分岐継手(ガス・液側共)は必ず《水平分岐》又は《垂直分岐》となるように設置してください。

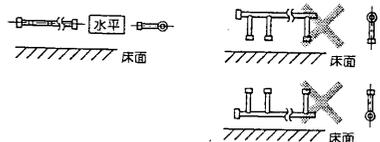


備考2. 立管にトラップを設ける必要はありません。

■ヘッダ方式
接続容量合計:450



備考1. ヘッダ(ガス・液側共)は必ず水平方向に設置し《水平分岐》となるように設置してください。



備考2. 立管にトラップを設ける必要はありません。

・配管サイズの選定

記号	選定要領	配管サイズ(mm)	
		ガス側	液側
A	水蓄熱ユニット主管(ISUP560HS1)	φ38.1	φ15.88
B	下流の室内ユニット容量合計(224+112+80+45+28)489	φ31.8	φ15.88
C	下流の室内ユニット容量合計(112+80+45+28)265	φ25.4	φ12.7
D	下流の室内ユニット容量合計(80+45+28)153	φ19.05	φ9.52
E	下流の室内ユニット容量合計(45+28)73	φ15.88	φ9.52
F	下流の室内ユニット容量合計(140+90)230	φ25.4	φ12.7
a	室内ユニット配管サイズ(140)	φ19.05	φ9.52
b	室内ユニット配管サイズ(90)	φ15.88	φ9.52
c	室内ユニット配管サイズ(224)	φ25.4	φ12.7
d	室内ユニット配管サイズ(112)	φ19.05	φ9.52
e	室内ユニット配管サイズ(80)	φ15.88	φ9.52
f	室内ユニット配管サイズ(45)	φ12.7	φ6.35
g	室内ユニット配管サイズ(28)	φ12.7	φ6.35

・分岐管セットの選定

記号	選定要領	分岐管セット
分岐管1	下流の室内ユニット容量合計(140+90+224+112+80+45+28)719	DIS-1KX40
分岐管2	下流の室内ユニット容量合計(224+112+80+45+28)489	DIS-1KX40
分岐管3	下流の室内ユニット容量合計(112+80+45+28)265	DIS-2KX30
分岐管4	下流の室内ユニット容量合計(80+45+28)153	DIS-2KX20
分岐管5	下流の室内ユニット容量合計(45+28)73	DIS-2KX10
分岐管6	下流の室内ユニット容量合計(140+90)230	DIS-2KX30

注(1)分岐管セットに付属の異径継手は各配管サイズによって適宜選定してください。

(2)分岐継手と室内ユニット側の口径調整が必要な場合は必ず分岐継手側で行ってください。

・配管サイズの選定

記号	選定要領	配管サイズ(mm)	
		ガス側	液側
A	水蓄熱ユニット配管サイズと同一(ISUP450HS1)	φ34.92	φ15.88
a	室内ユニット配管サイズ(160)	φ19.05	φ9.52
b	室内ユニット配管サイズ(90)	φ15.88	φ9.52
c	室内ユニット配管サイズ(56)	φ15.88	φ9.52
d	室内ユニット配管サイズ(56)	φ15.88	φ9.52
e	室内ユニット配管サイズ(22)	φ12.7	φ6.35
f	室内ユニット配管サイズ(22)	φ12.7	φ6.35
g	室内ユニット配管サイズ(22)	φ12.7	φ6.35
h	室内ユニット配管サイズ(22)	φ12.7	φ6.35

・ヘッダセットの選定

記号	選定要領	ヘッダセット
ヘッダ1	接続室内ユニット台数にて選定	HEAD-8KXB

注(1)ヘッダセットに付属の異径継手は各配管サイズによって適宜選定してください。

(2)ヘッダと室内ユニット側の口径調整が必要な場合は必ずヘッダ側で行ってください。

組合せ室内ユニット

1. 組合せは各蓄熱ユニット形式で確認(台数・機種)してください。
・組合せは下表条件内であれば可能です。

蓄熱ユニット形式	室内ユニット組合せ台数	室内ユニット接続合計容量
355H	1~16台	178~462
		225~585
450H	1~20台	280~728

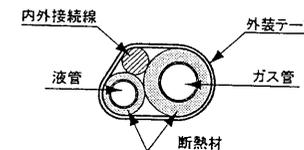
室内ユニット配管サイズ

容量(形式)	ガス側		液側	
	配管径	接続方法	配管径	接続方法
22形	φ12.7	フレア	φ6.35	フレア
28形・SAF500DR形	φ12.7		φ6.35	
36形	φ12.7		φ6.35	
45形・SAF750DR形	φ12.7		φ6.35	
56形・SAF1000DR形	φ15.88		φ9.52	
71形	φ15.88		φ9.52	
80形	φ15.88		φ9.52	
90形	φ15.88		φ9.52	
112形	φ19.05		φ9.52	
140,160形	φ19.05		φ9.52	
224形	φ25.4	ろう付	φ12.7	ろう付
280形	φ28.58	φ12.7		

記事: 冷媒配管の断熱

・ガス管、液管共断熱材で防熱・防露する必要があります。

1. ガス管は、冷房運転時、配管に結露したものがドレン水となり水漏れ事故となることを防ぐため、また暖房運転時には吐出ガスが流れ管表面温度が高くなり、人が接触し火傷などの危険があるため必ず断熱してください。
2. 室内ユニットのフレア接続部分はガス管、液管共断熱材(パイプカバー)で断熱してください。
3. 断熱はガス側、液側配管共両方に行ってください。その際断熱材と配管を密着させてスキマができないように接続線と共に外装テープで巻いてください。



4. 蓄熱利用冷房時に、蓄熱ユニットと室内ユニット間の液側配管が低温(約5°C)になりますので液側配管もガス側配管と同様に断熱処理を行ってください。保温がないと結露水による事故や能力低下の原因となります。

適用機種		ISUP355,450,560HS1	
形式		ISU-HS1シリーズ	
発行者	名称	配管接続図	
北川	図番	PKC000Z154	
01,12,7	訂 符	業 別	2/2